

# 「夢のような時代だったねー」

土曜日は、お楽しみ会



おとした  
大下 繁春さん (堀内机・76歳)

## 普代の植物散歩 ⑱

「コウボウムギ (かやつりぐさ科)」

大森 竹之助さん (71歳・久慈市在住)



春から七月まで普代浜の低砂丘にコウボウムギが咲く、群落というべき広がりである。花というからには赤や黄色の華やかさを思い浮かべるが、写真のとおり色彩に乏しい。特徴はなんといっても別名「フデクサ」といって、

春から七月まで普代浜の低砂丘にコウボウムギが咲く、群落というべき広がりである。花というからには赤や黄色の華やかさを思い浮かべるが、写真のとおり色彩に乏しい。特徴はなんとも異なり、枯れた葉の先の部分で筆を

《262》

★：高等科を卒業して、久慈市にあった川崎重工業株式会社に入りました。仕事は石炭を積んだりしてました。当時は十二時間労働だったんですよ。★：終戦後は家で炭焼きをやつて、そのあと、出稼ぎに行つたんですよ。マンシヨンの内装工事をやりました。つらいつて思つたごとはながつたです。自分の稼ぎ次第で収入が増えるもんだが、われわれ日雇いのもんには、夢のない時代だったですねー。★：今はホウレンソウを手伝つてテレビのニュースや時代劇を見てます。



ある。草丈は、一五〜二五センチメートルと短く丈夫で、

普代浜周辺 (写真：大森さん提供)

これなら強風にもびくともしないであろう。茎に約五センチメートルほどの花穂をつけ、淡黄緑色の小穂がたくさんつく。名の由来は、書の達人弘法大師にちなんでコウボウ、麦の穂のように見えるのでムギ、あわせてコウボウムギというそうである。いまや手遅れながら書の上達を夢見て、コウボウムギの穂にそつてさわつてみた。

## 川柳 文芸の世界

川柳愛好会 六月例会作品

母さんにそっくりだよと言われます 嵯峨 待女  
寝め上手いつも乗せられ苦笑い  
きっぱりと言つた言葉に嘘はない 三上 翠香  
ジャンプして川に飛び込む元氣な子  
器量良く咲いたアヤメが朝市に  
十七才溝ができたか親位かせ 深渡 汀女  
ジャンプして越えた八十路の菖雲  
たそがれをまだまだ似合う夏帽子  
波しぶき朝の市場は人まばら 太長根英子  
良いところ見つけて伸ばす寝め上手  
岡床異夢越えれぬ溝の離婚劇  
手筋まで似るらし母の文字に似る 加差野静浪  
悪いところ選んで似てる子の仕草  
納得のゆかぬジャンプに骨が折れ  
ここに溝あったと知らぬ黒眼鏡

## 第28回イーハートブトライアル大会



今年も普代浜でトライアルレースが行われます。華麗なテクニクをご覧ください。

8月28日(土)